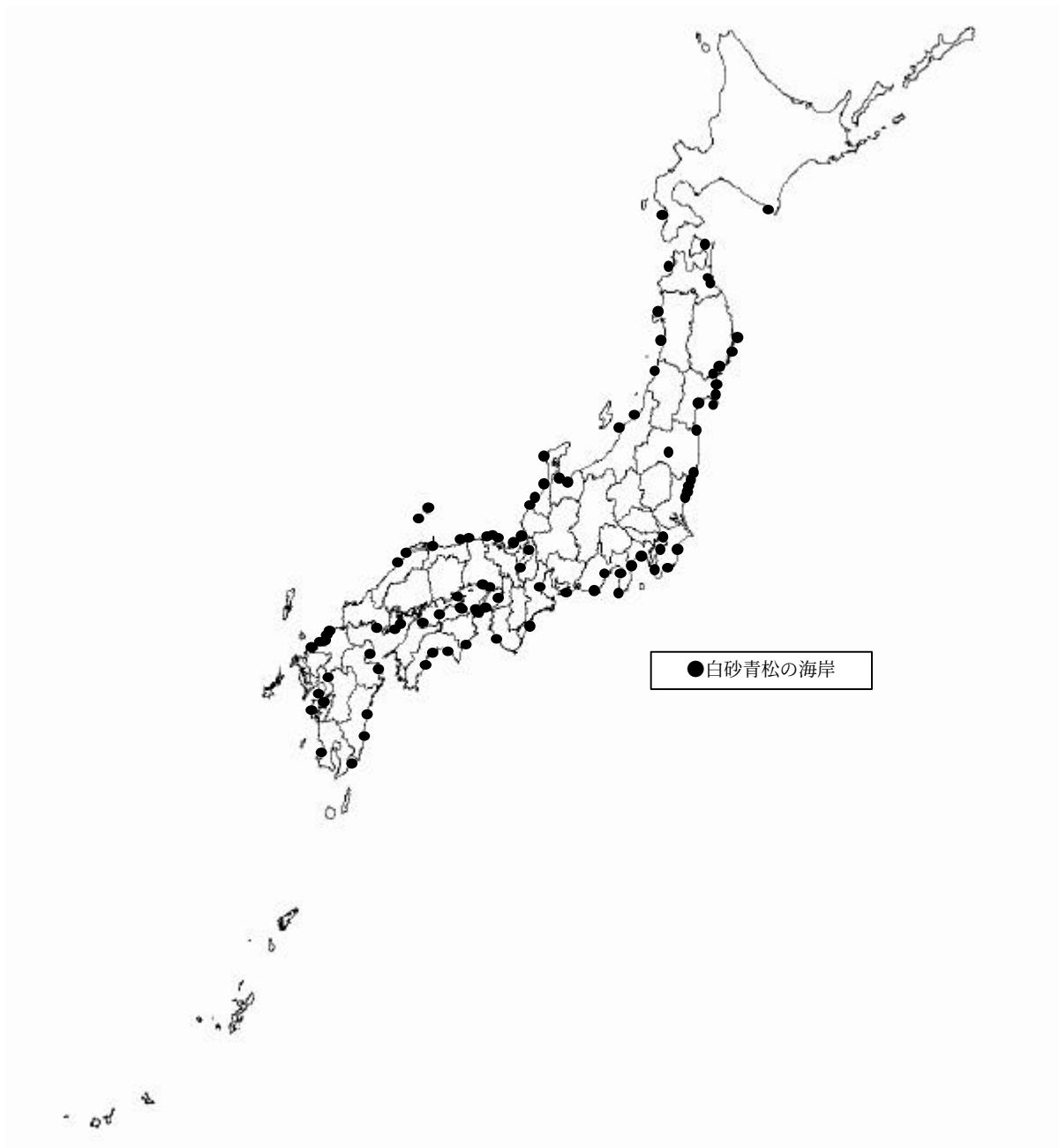


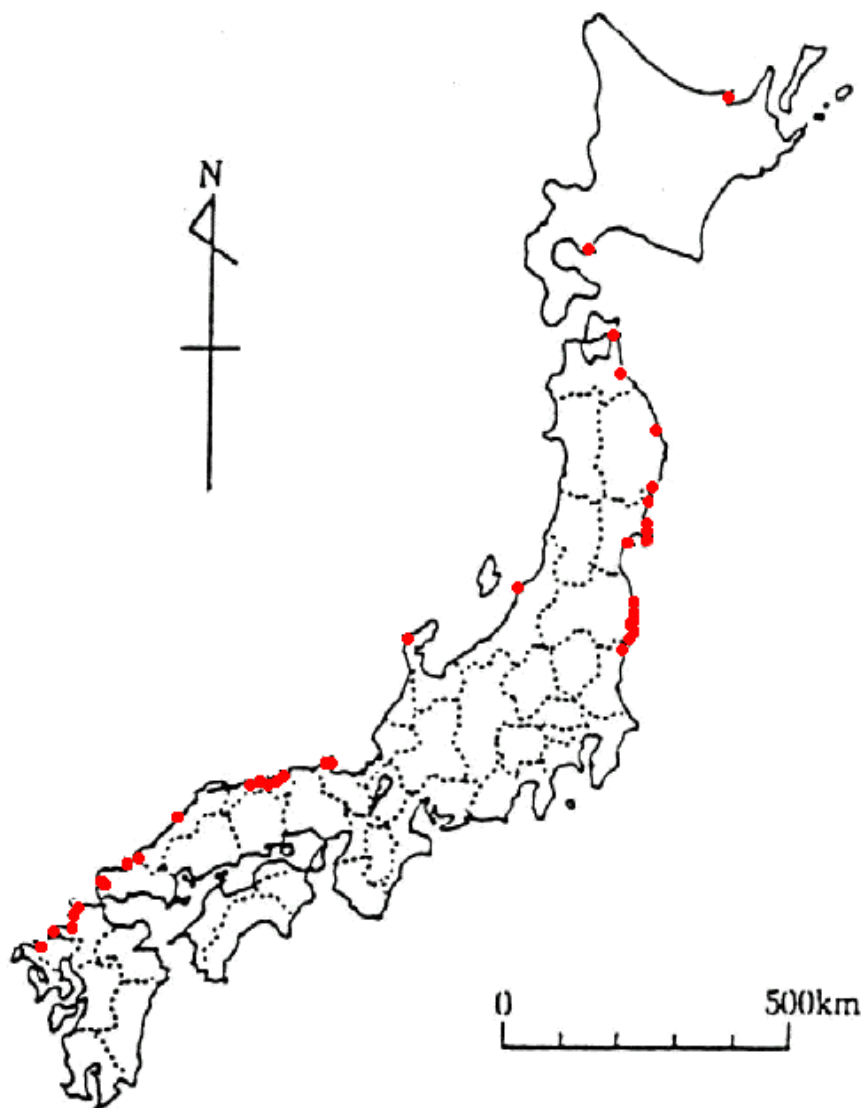
① 海辺の自然環境

- 我が国の海辺には、美しい白砂青松が多数存在している。



(日本の白砂青松100選 (社) 日本の松の緑を守る会 より作成)

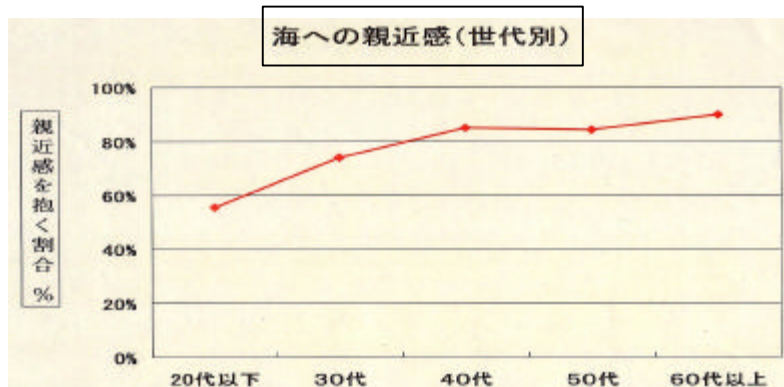
○ 全国において鳴き砂のある海岸は、以下のように分布している。



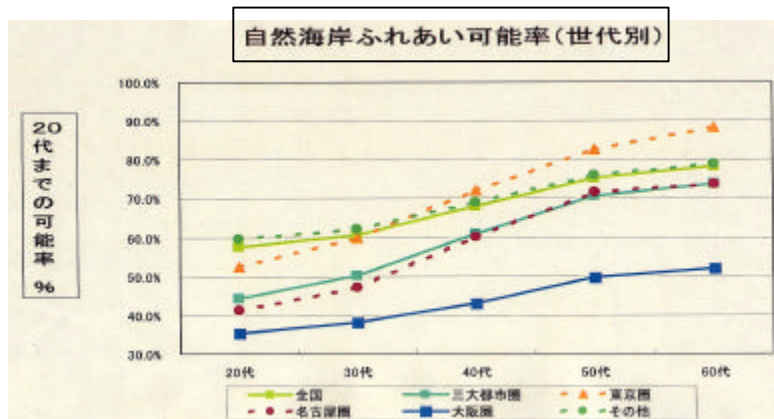
(国土交通省資料)

② 海や海辺に対する国民の意識

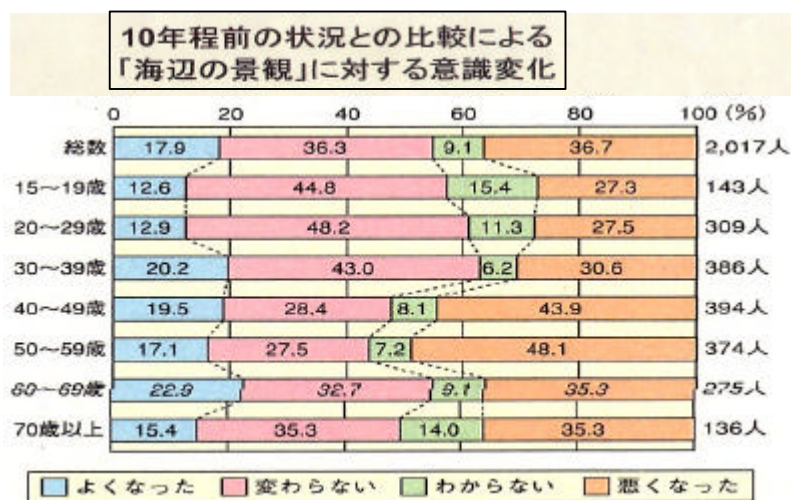
- 海や海辺に対する国民の意識についてアンケート調査を行った結果、以下の結果が得られた。



(平成12年6月国土交通省(旧運輸省)アンケートより作成)



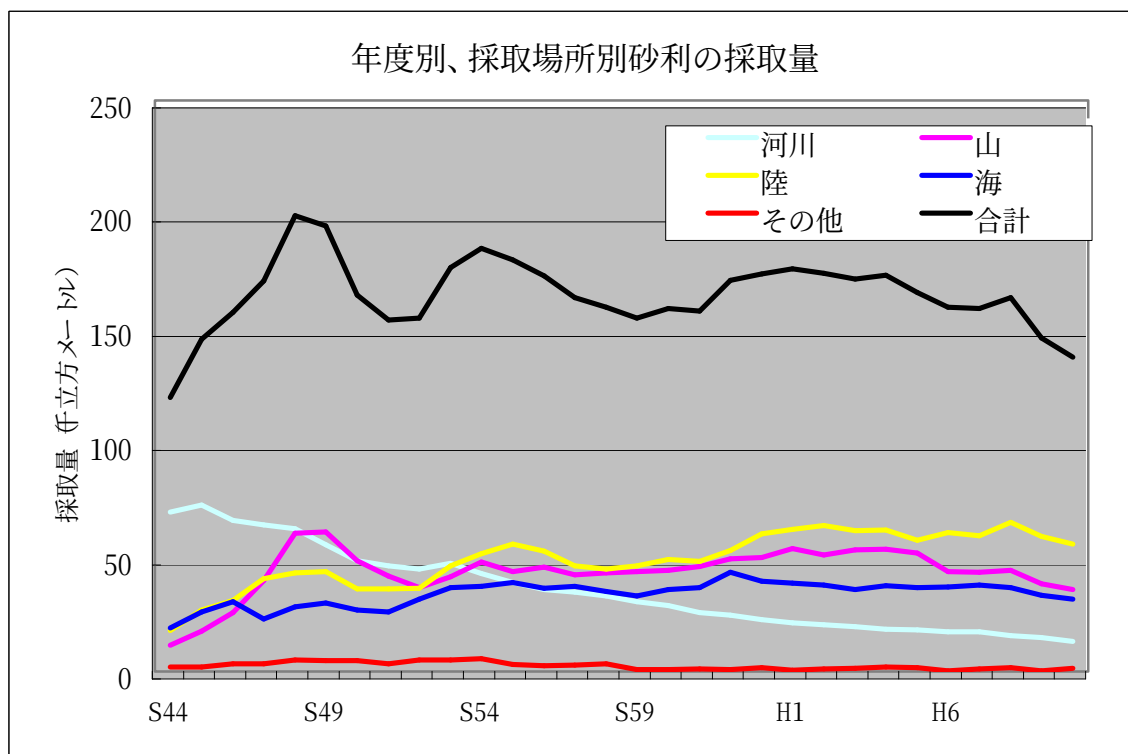
(国土交通省調べ)



平成12年8月海辺ニーズに関する世論調査(旧総理府)より作成)

③ 海砂利採取

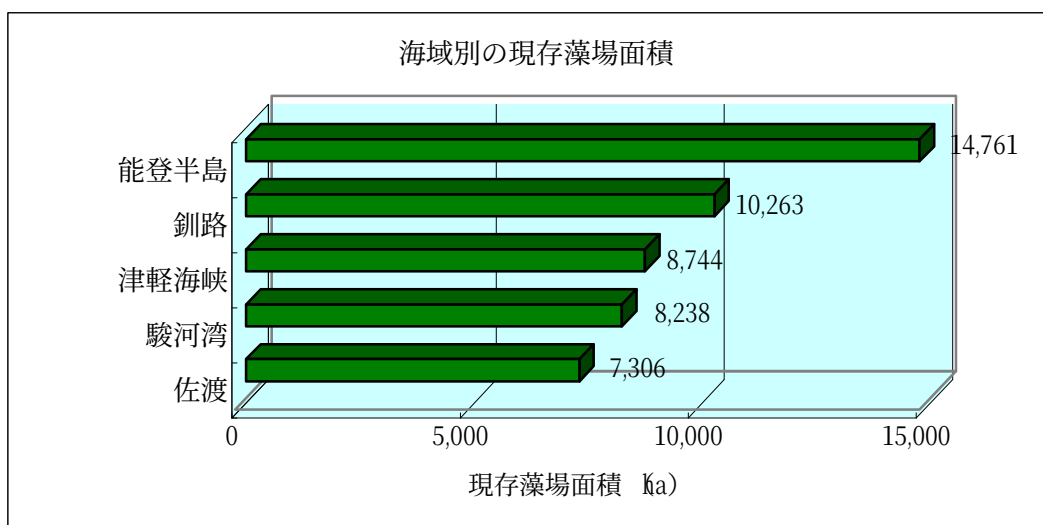
・各場所での砂利採取の経年変化は以下のとおり。



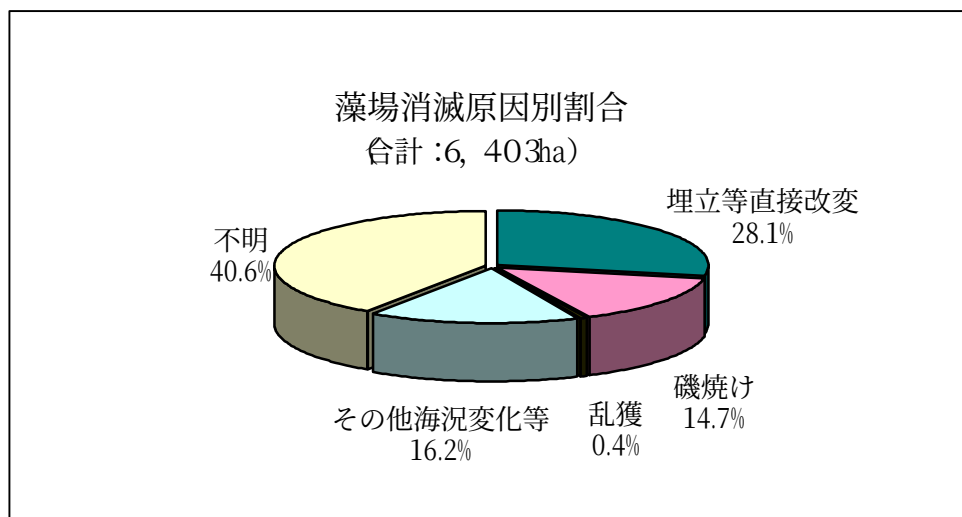
経済産業省、国土交通省資料より作成)

④ 藻場

- 主な海域での現存する藻場面積及び昭和 53 年から約 10 数年間の消滅の原因は以下のとおり。



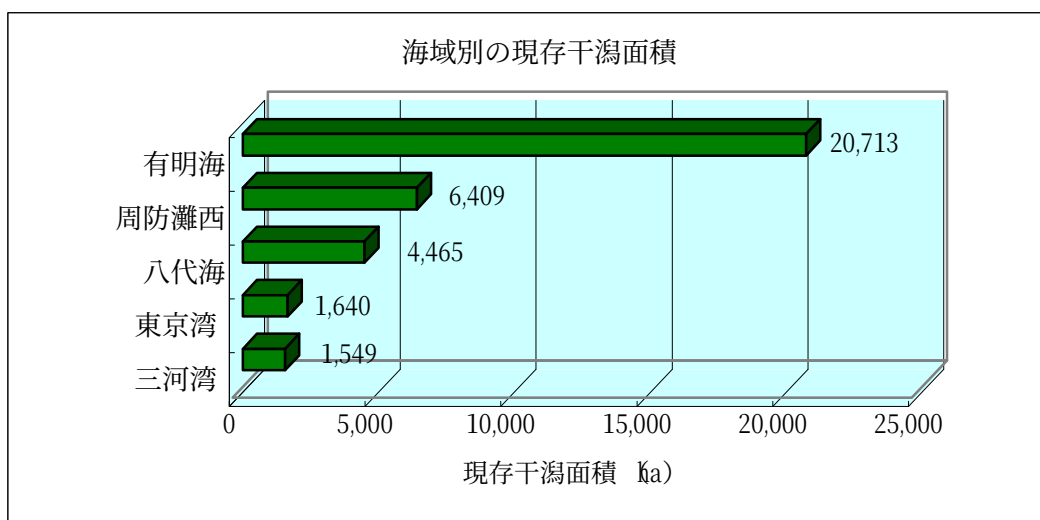
(第 4 回自然環境保全基礎調査 (旧環境庁) より作成)



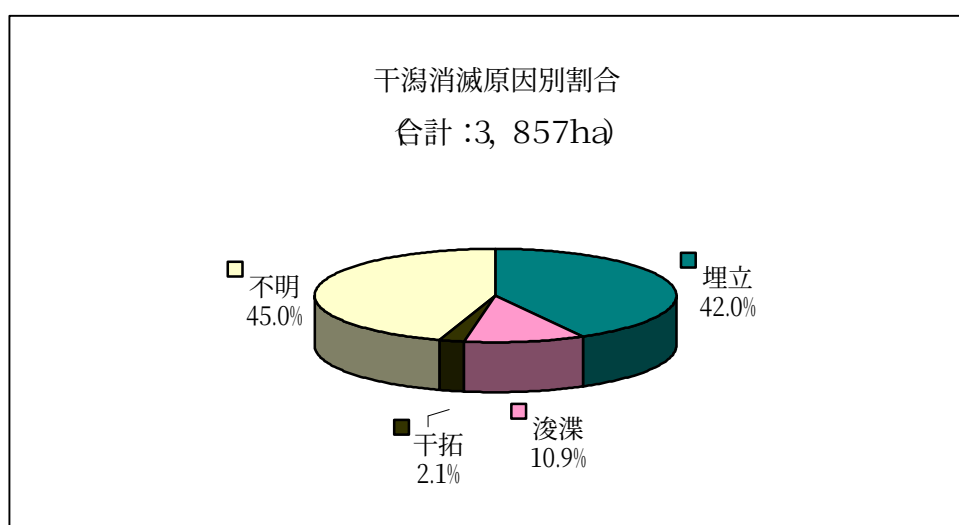
(第 4 回自然環境保全基礎調査 (旧環境庁) より作成)

⑤ 干潟

- 主な海域での現存する干潟面積及び昭和 53 年から約 10 数年間の消滅の原因は以下のとおり。



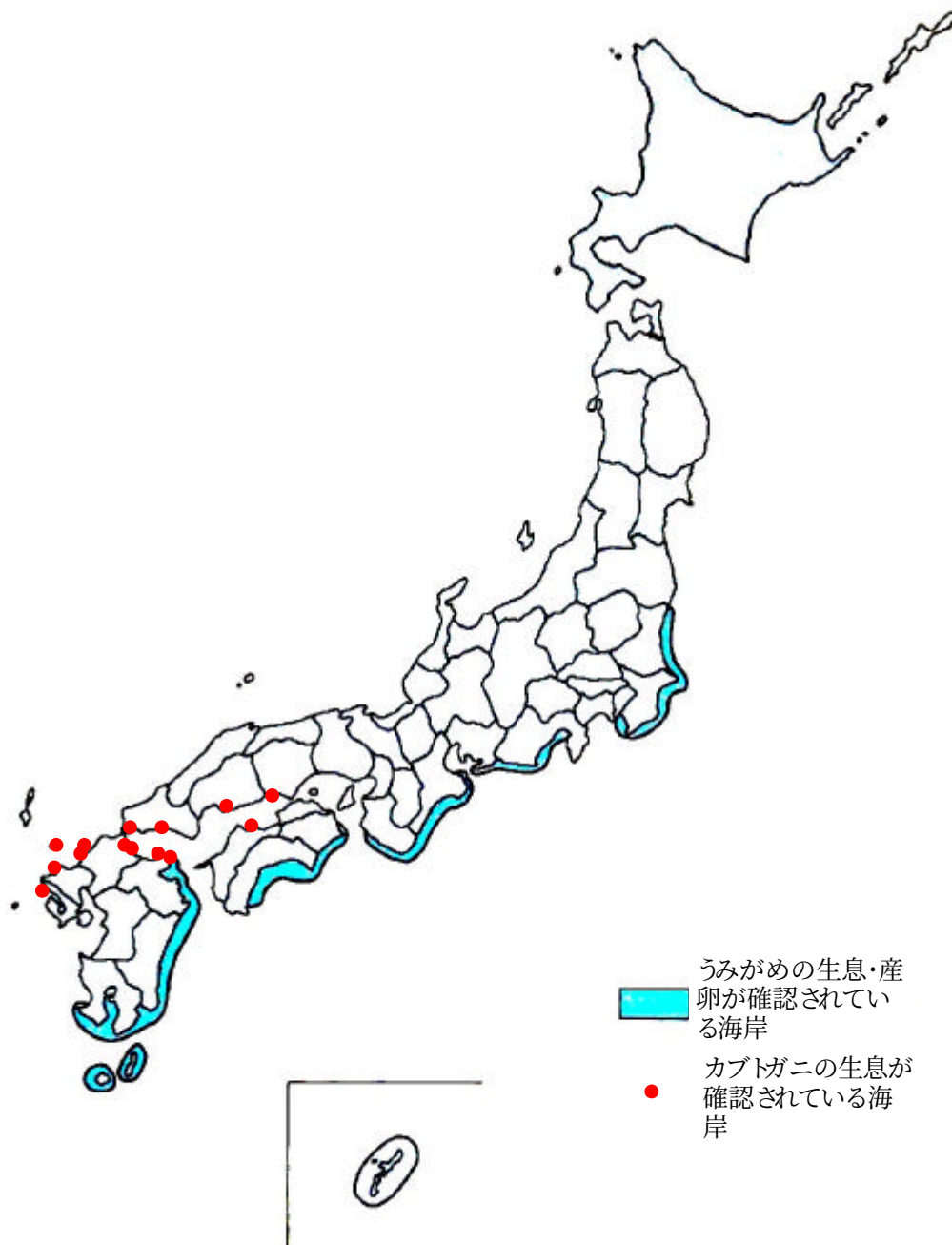
(第 4 回自然環境保全基礎調査 (旧環境庁) より作成)



(第 4 回自然環境保全基礎調査 (旧環境庁) より作成)

⑥ 海辺の生物の生息環境

- ウミガメやカブトガニが生息している海岸は以下のように分布している。

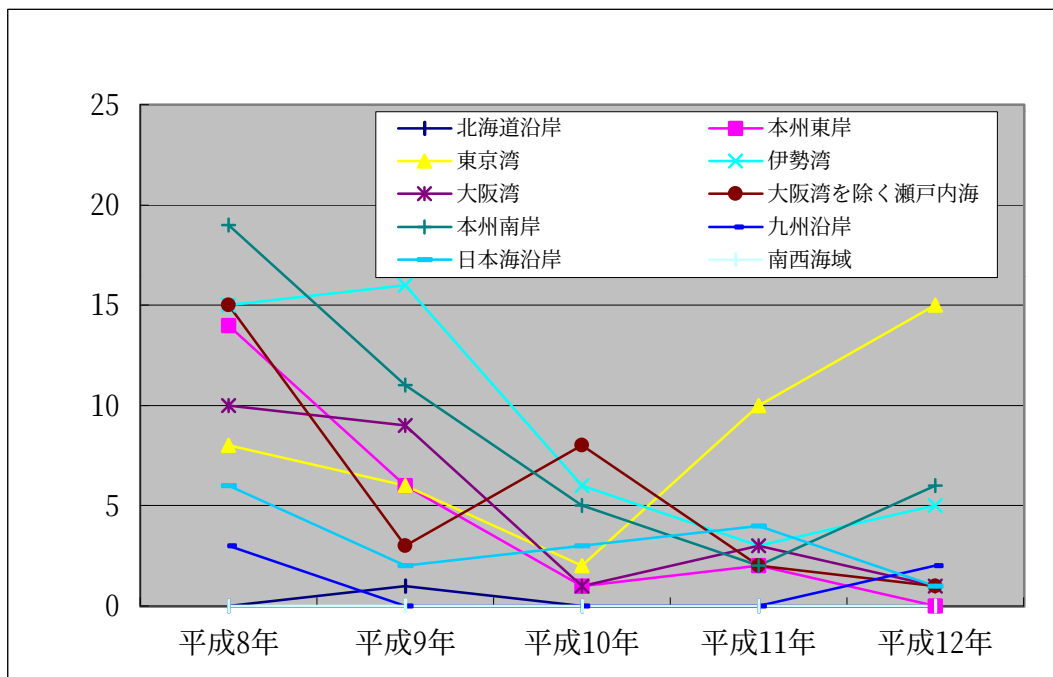


(国土交通省資料)

⑦ 赤潮の発生

○ 日本の各海域における赤潮の発生状況は以下のとおり。

赤潮の海域別発生確認件数の推移

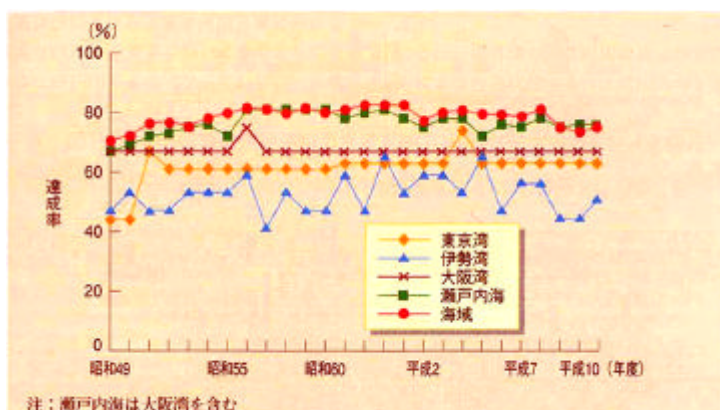


(2001海上保安レポートより作成)

⑧ 環境基準の達成状況

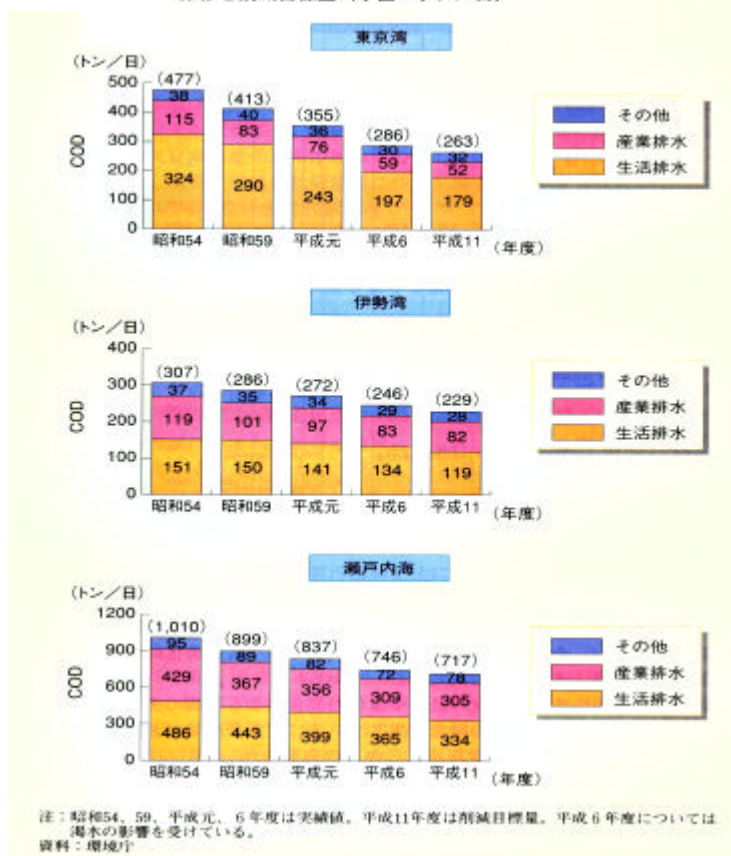
- 東京湾、伊勢湾、大阪湾及び瀬戸内海での環境基準（COD）の達成状況は以下のとおり。

総量規制3海域の環境基準(COD)達成率の推移



(平成13年版 環境白書)

総量規制3海域における発生源別発生負荷量 (COD) の推移と削減目標量 (単位：トン/日)

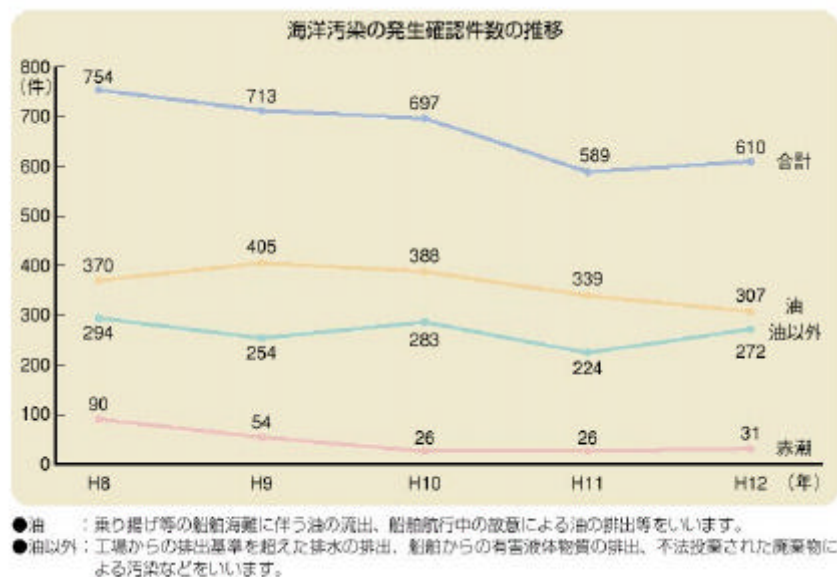


(平成13年版 環境白書)

⑨ 海洋汚染

- 海洋汚染の発生確認件数や海域への油流出を伴う主な事故は以下のようになっている。

海洋汚染の発生確認件数の推移



(2001海上保安レポートより)

これまで発生した油流出を伴う事故の主な事例

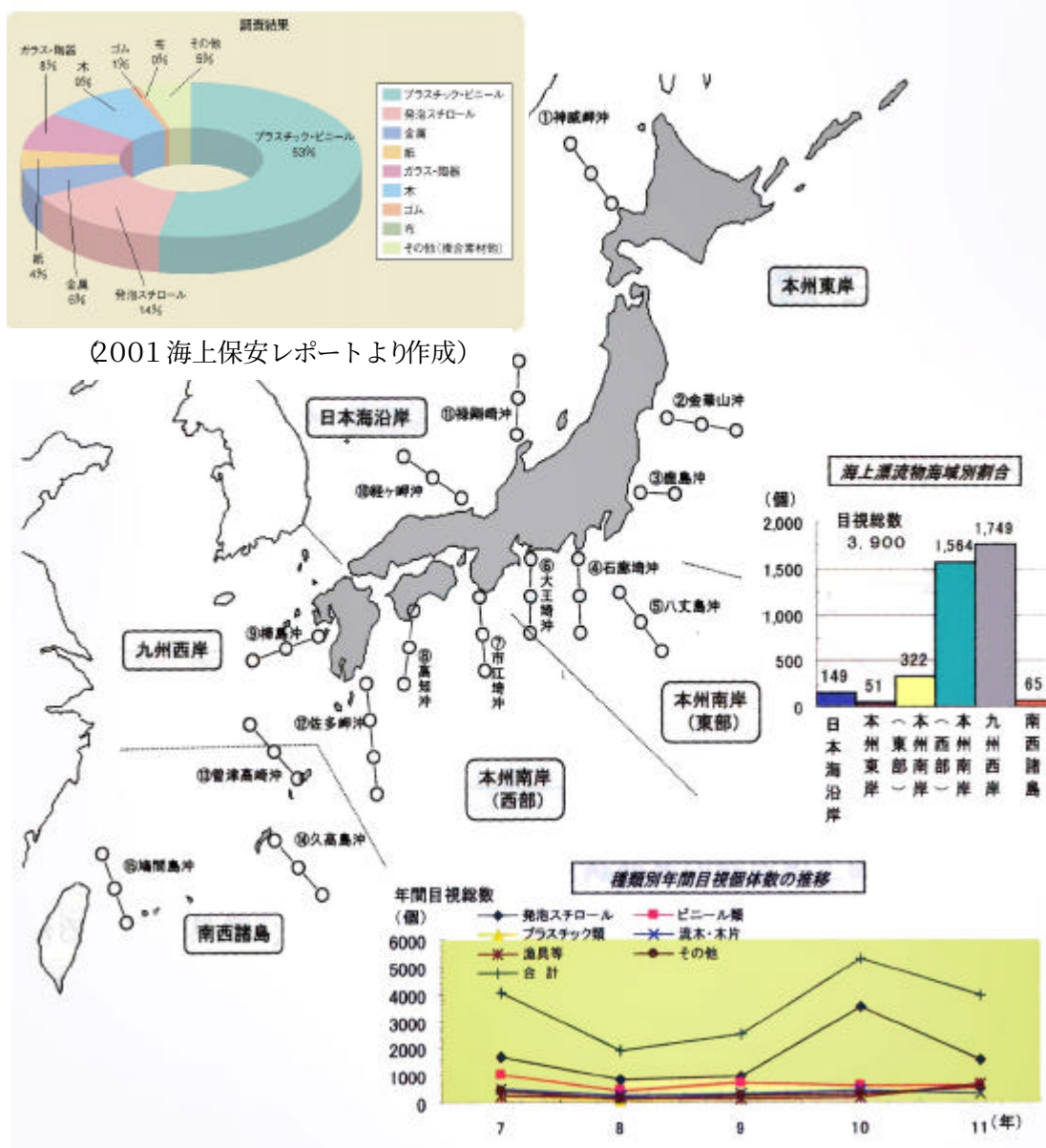
発生年月日	船名	発生場所	原因	推定流出量(KL)
S. 46. 11. 30	ジュリア	新潟港	乗揚げ	7200
S. 48. 5. 3	日聖丸	伊良湖水道	衝突	900
S. 48. 7. 20	竜進丸	備讃瀬戸	衝突	570
S. 49. 4. 26	カテーナ・エム	采島海峡	衝突	770
S. 49. 12. 18	三菱石油水島製油所	水島港	破損	7500~9500
S. 51. 4. 29	ゴールデン・リーダー	五島列島西方付近	乗揚げ	600
S. 52. 4. 7	アストロ・レオ	釣島水道付近	衝突	1200
S. 52. 10. 20	アル・サビア	室戸岬南方	損傷	1300
S. 53. 6. 12	東北石油	塩釜港	破損	2900
S. 54. 3. 22	第8宮丸	備讃瀬戸	衝突	543
S. 57. 3. 21	アカデミー・スター	千葉県千倉海岸	乗揚げ	600
S. 57. 8. 10	近栄丸	神戸沖	衝突	540
S. 61. 10. 7	No.4 ホアユン	高知県室戸岬沖	衝突	1380
S. 63. 12. 10	第一春日丸	京都府経ヶ岬沖	浸水・沈没	1100
H. 2. 1. 25	マリタイム ガーデニア	京都府経ヶ岬沖	乗揚げ	918
H. 5. 1. 26	ノードホープ	苫小牧沖	乗揚げ	積載579KLの大部分流出
H. 5. 5. 31	泰光丸	福島県塩屋崎沖	衝突	521
H. 6. 10. 17	豊孝丸	和歌山県雑賀崎沖	衝突	570
H. 8. 4. 20	サザン ヴェンチャー	沖ノ島島	乗揚げ	700
H. 9. 1. 2	ナホトカ	島根県沖	沈没	6240
H. 9. 4. 3	オーソン	対馬西沖	乗揚げ	不明1700kl積載
H. 9. 7. 2	ダイヤモンドグレース	東京湾	乗揚げ	1550
H. 9. 12. 8	メラティマス	青森県百石海岸	乗揚げ	不明181kl積載
H. 10. 8. 15	第5山菱丸	千葉県犬吠埼沖	衝突	46

(国土交通省資料)

⑩ 海上漂流物

○ 日本沿岸での漂流物の状況は以下のとおり。

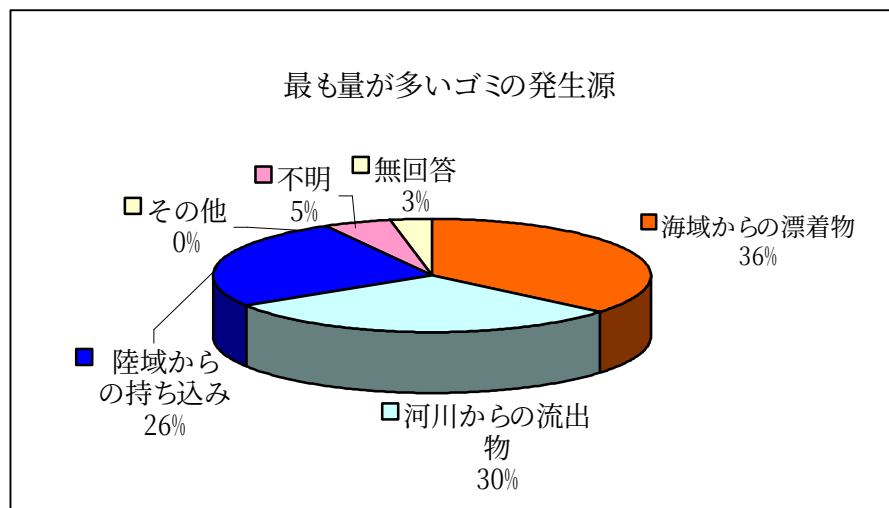
日本周辺における海上漂流物目視調査結果 平成11年)



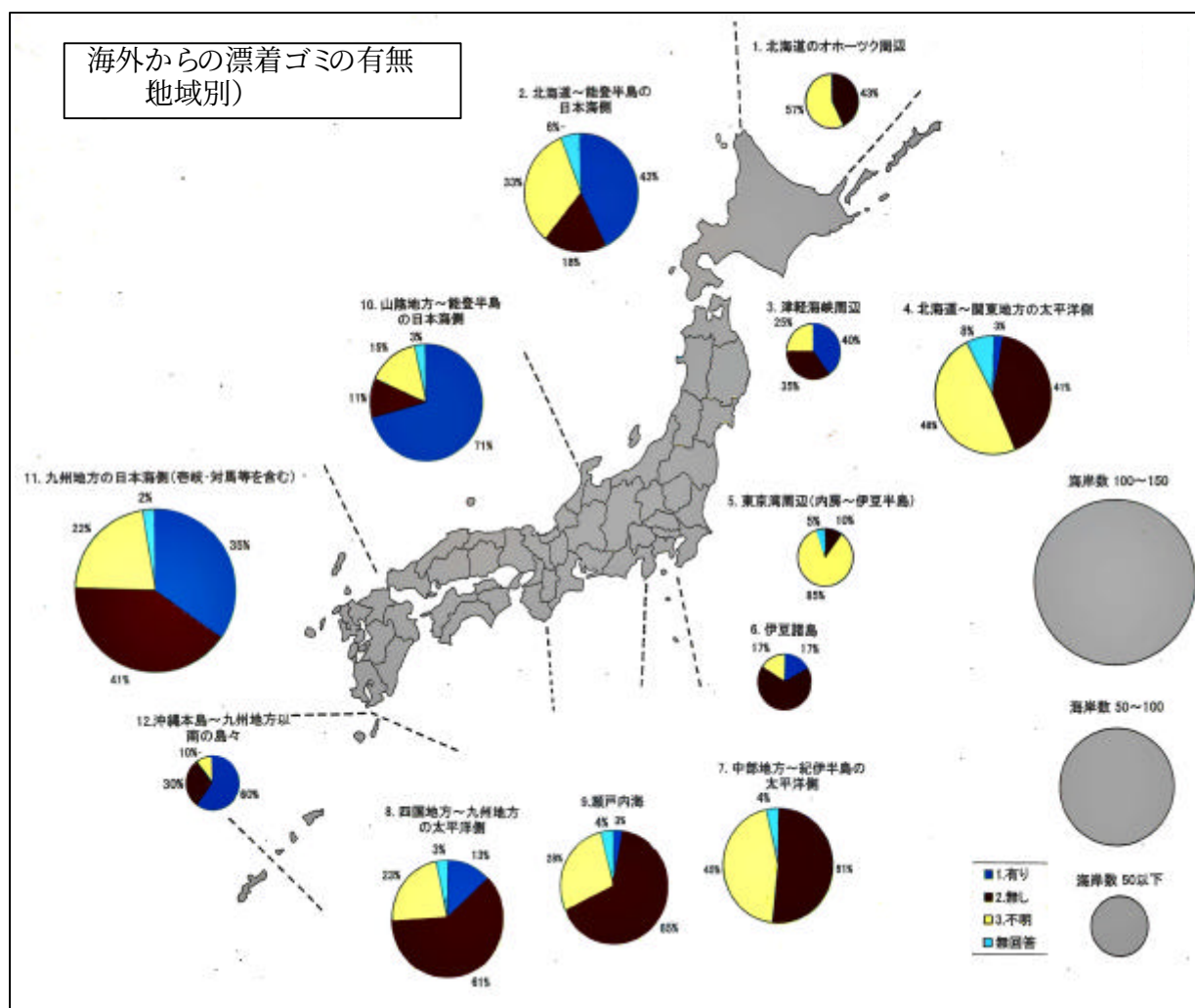
平成12年版 海上保安白書)

⑪ 海岸漂着物

○ 海岸に漂着するゴミの発生源は以下のとおり。

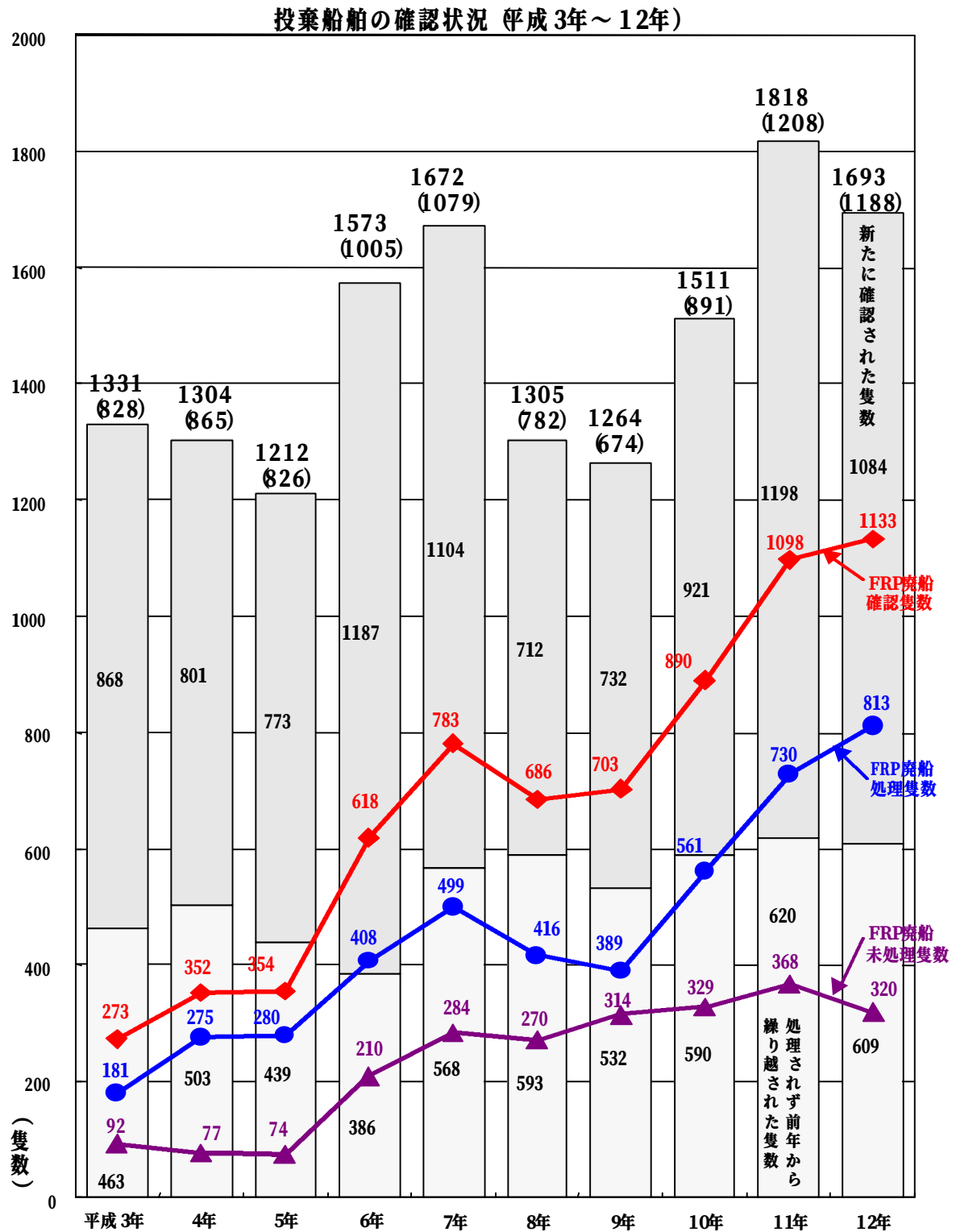


平成12年国土交通省アンケート調査より作成)



⑫ 船舶の投棄

○ 投棄された船舶の状況は以下のとおり。

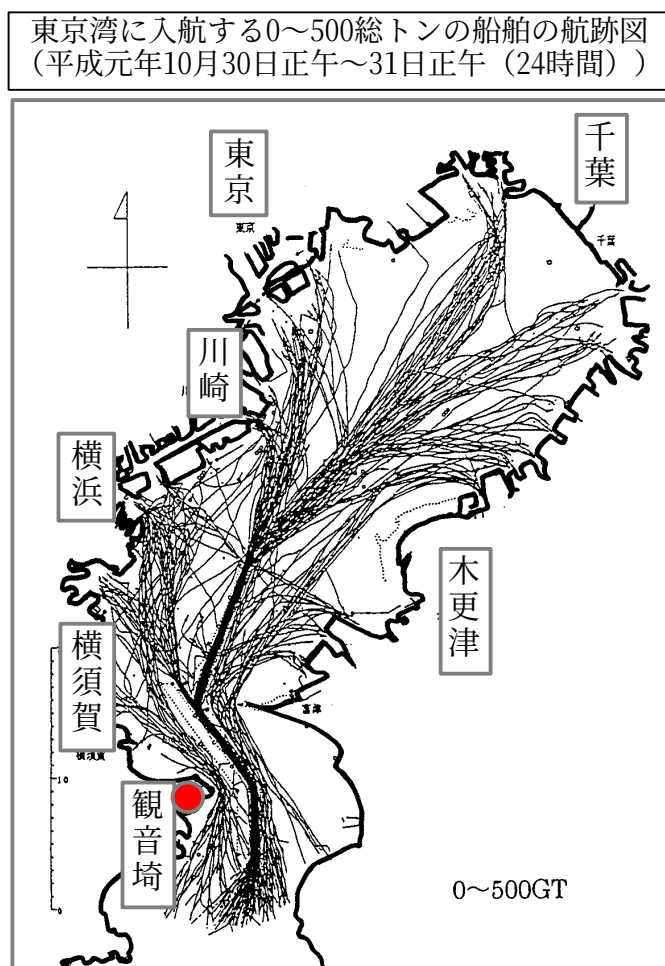


注1 □ 当該年に新たに確認された投棄船舶の隻数、□ 処理されずに当該年の前年から繰り越された隻数。
 2 海難による放置船舶 乗揚げ又は沈没等の海難に遭遇した船舶のうち、海岸線付近又は海底に放置されている状態のもの。は含まない。
 3 投棄船舶とは、海防法違反の状態であると海上保安庁が認めた船舶のことを指す。
 4 確認総数の ()内は撤去された隻数を指す。

(海上保安庁資料)

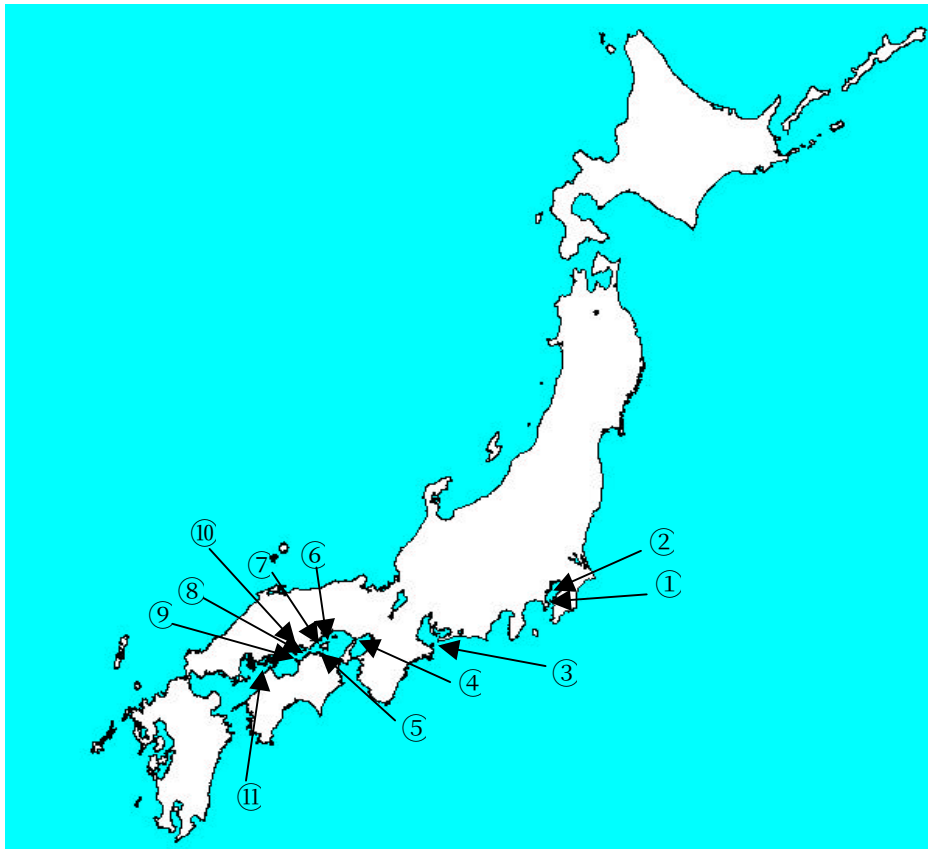
⑭ 海上交通の混雑

- 東京湾に入湾する船舶及び航路別管制船舶隻数の通行状況は以下のようになっている。



(2001海上保安レポート)

航路別管制船舶隻数の通航状況



隻/年

	①浦賀水道航路	②中ノ瀬航路	③伊良湖水道	④明石海峡	⑤備讃瀬戸東	⑥宇高東	⑦宇高西	⑧備讃瀬戸北	⑨備讃瀬戸南	⑩水島	⑪来島海峡
日本船	5,070	1,142	2,249	2,487	1,999	0	5	1,098	1,153	839	2,455
外国船	10,488	3,941	4,288	2,376	1,812	0	0	877	792	1,025	1,029
計	15,558	5,083	6,537	4,863	3,811	0	5	1,975	1,945	1,864	3,484

(平成12年1月～12月)

管制船舶とは、

(1) 巨大船 長さ200m以上の船舶

(2) 危険物積載船

①火薬類80トン以上を積載している総トン数300トン以上の船舶

②ばら積みの高圧ガスで引火性のものを積載している総トン数1,000トン以上の船舶

③ばら積みの引火性液体を積載している総トン数1,000トン以上の船舶

④有機過酸化化物200トン以上を積載する総トン数300以上の船舶

(3) 長大物件えい（押）航船

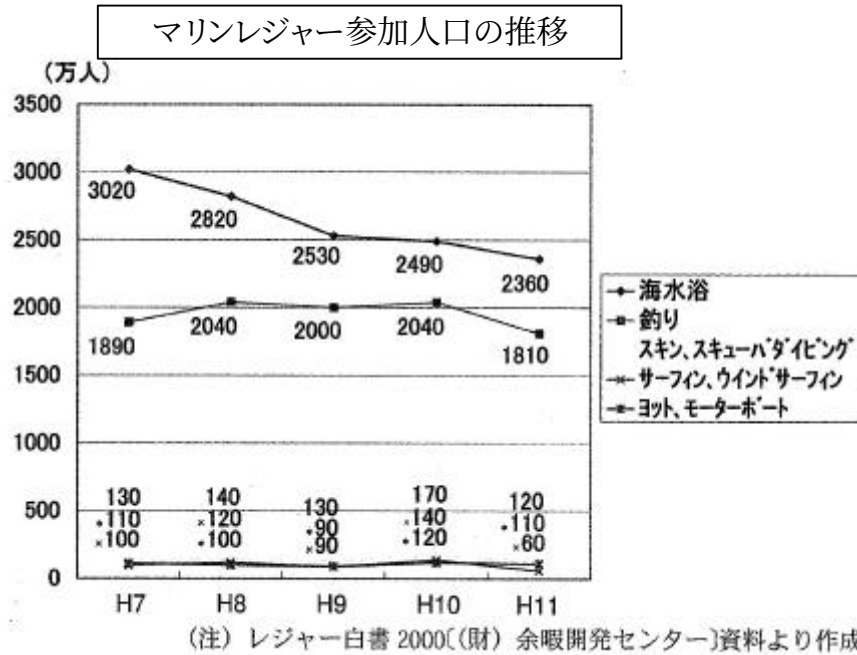
引き船の船首から引かれる物件の後端まで又は押し船の船尾から押される物件の先端までの距離が200m以上のもの

をいう。

(2001海上保安レポートより作成)

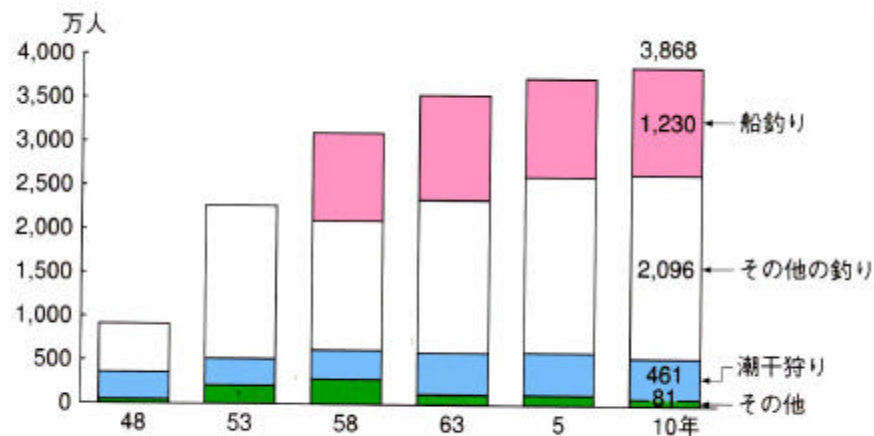
⑮ マリンレジャー人口

- マリンレジャーで海を利用している人の数は以下のようにになっている。



平成12年版 海上保安白書)

海面における遊漁者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」

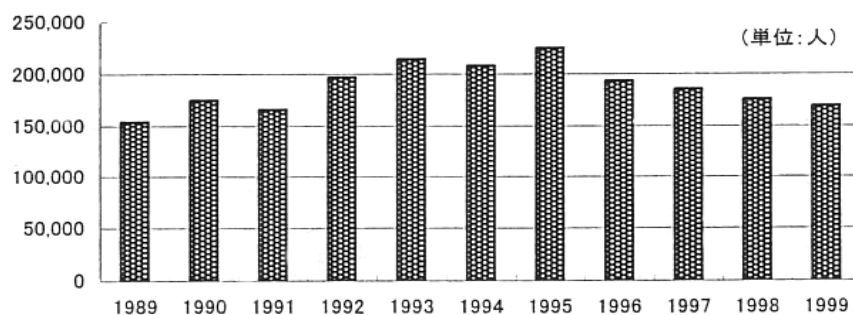
注：昭和48年及び53年の「その他の釣り」は、船釣りを含む。

図説 漁業白書 平成11年度)

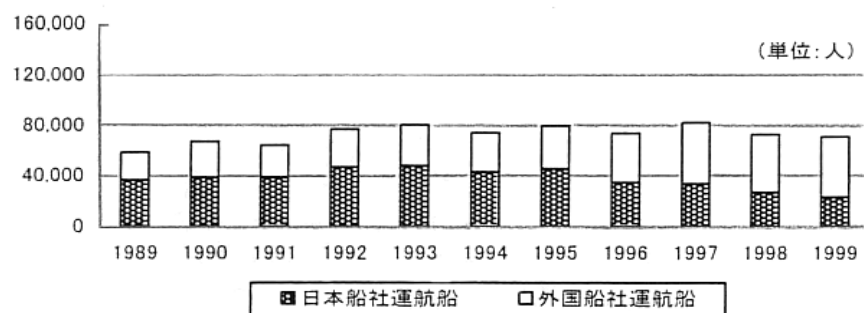
⑯ クルーズ人口

- 船旅を目的として航路を利用した人の数は以下のとおり。

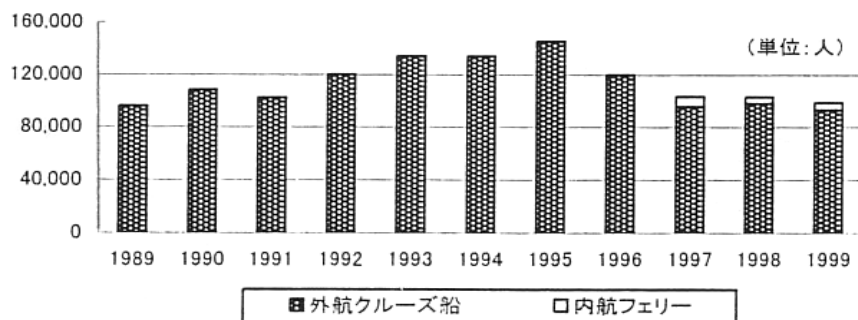
全 体 人 数



日本と海外を結ぶ航路を利用した人の数

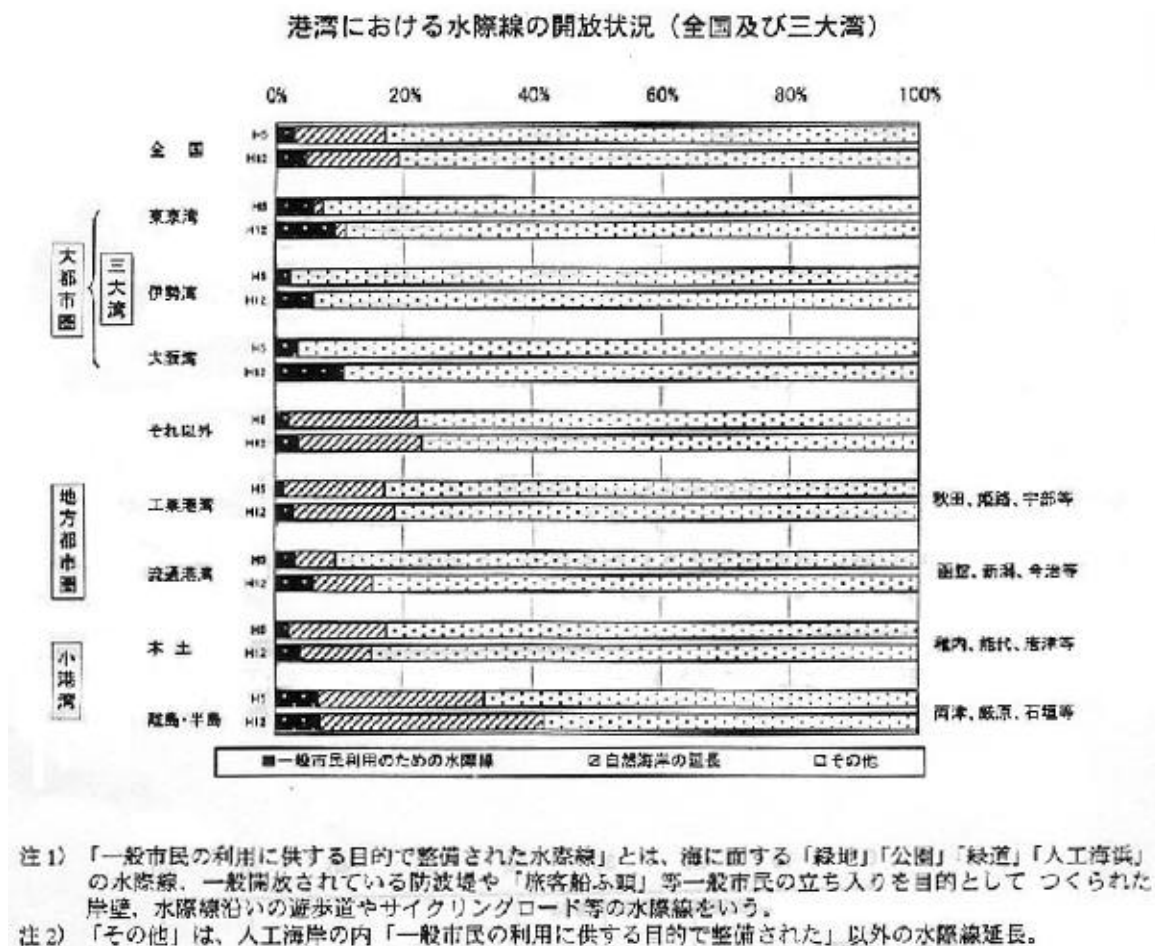


国内を巡る航路を利用した人の数



⑰ 市民が近づける海辺の状況

- 港湾における水際線の開放状況は以下のとおり。

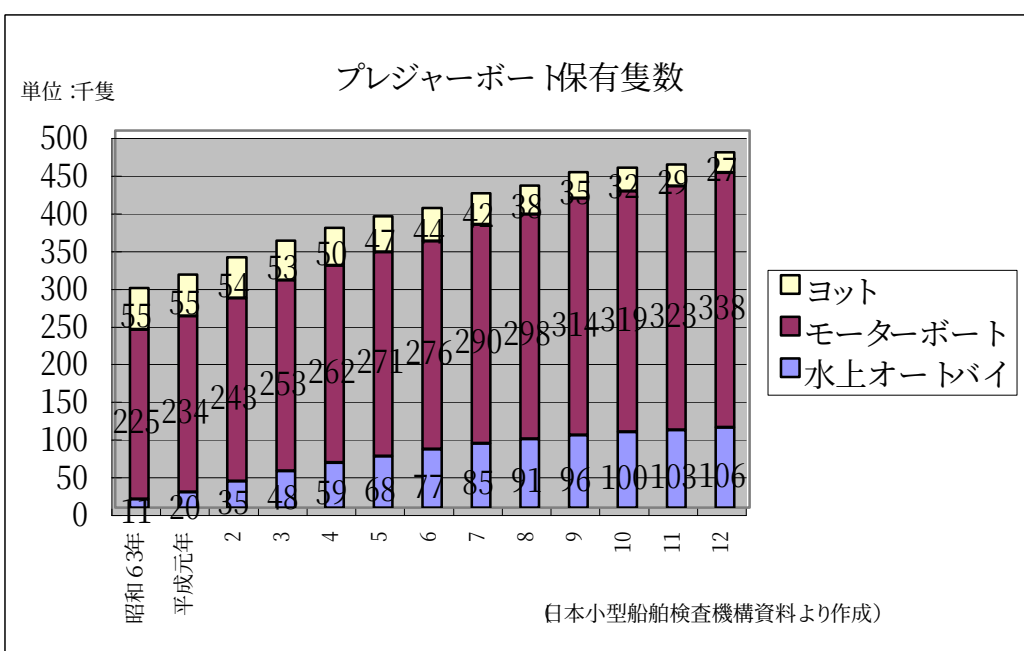


（港湾管理者へのアンケート調査（1993年6月、2000年7月）より国土交通省（旧運輸省）作成）

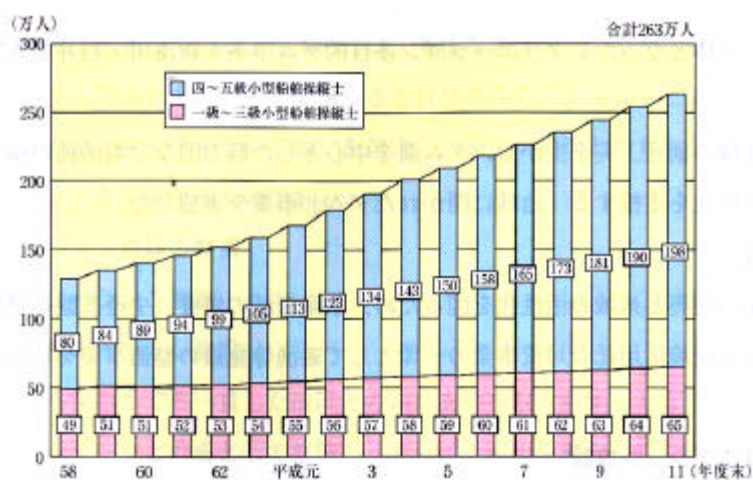
⑱ プレジャーボートの利用

- プレジャーボートの保有隻数の推移及び小型船舶操縦士の免許保有者の推移は以下のとおり。

舟艇保有隻数の推移

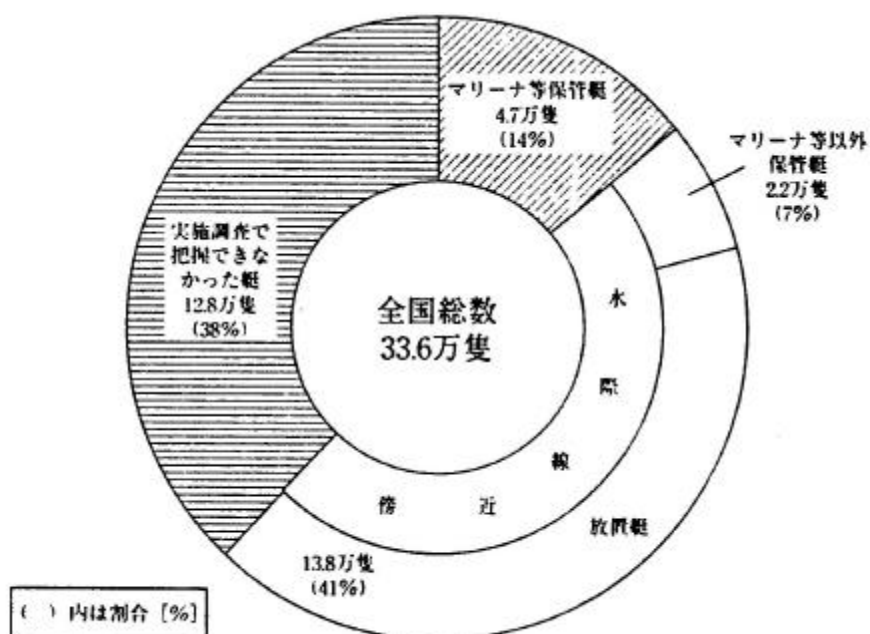
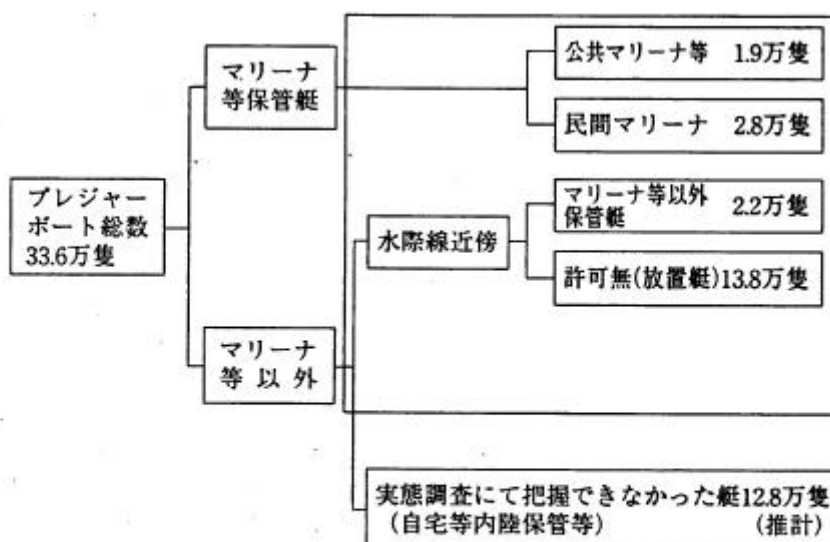


小型船舶操縦有資格者数の推移



- プレジャーボートの保管の実態は以下のとおり。

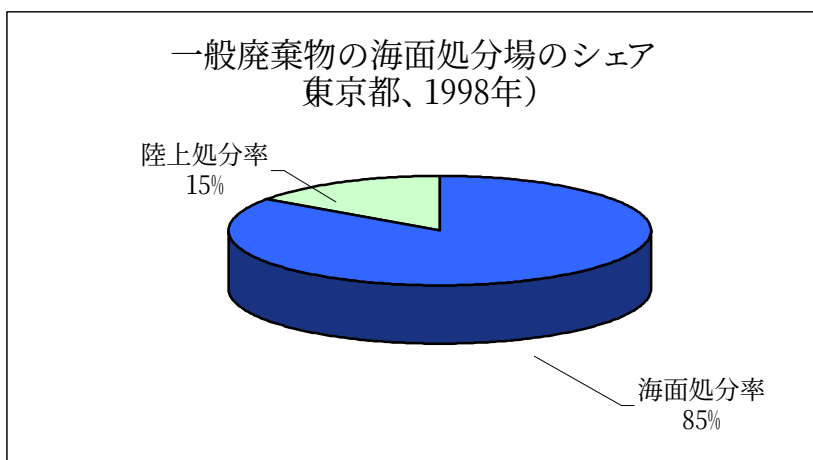
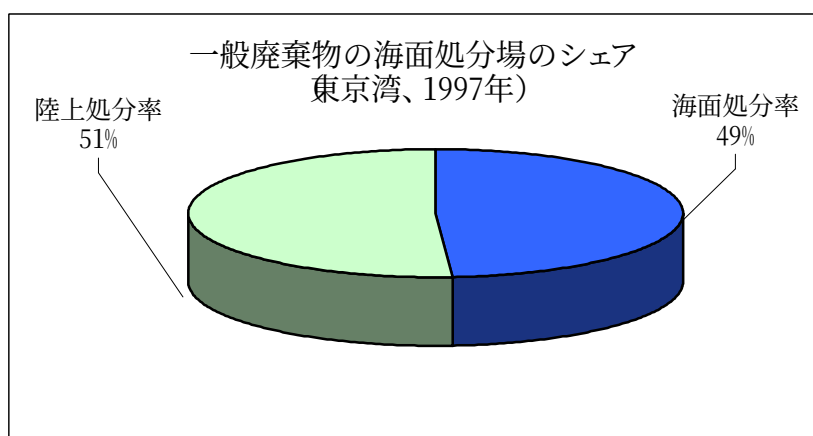
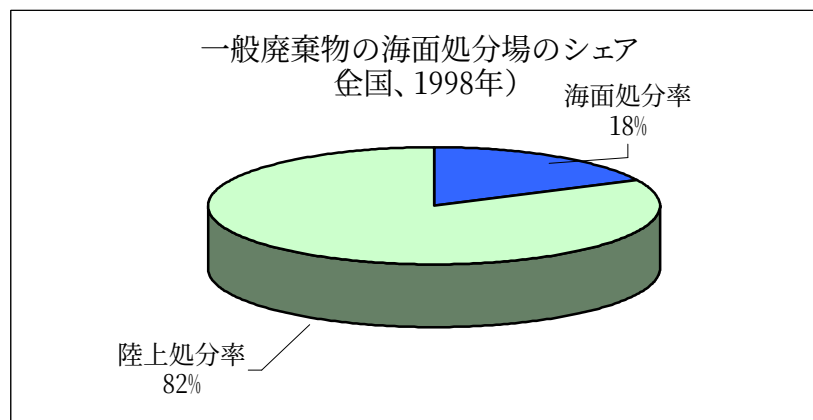
プレジャーボートの保管状況



※調査範囲は全国全ての港湾、漁港、河川
(1996年の国土交通省 (旧運輸省、旧建設省)、水産庁調査より作成)

⑭ 廃棄物の海面処分

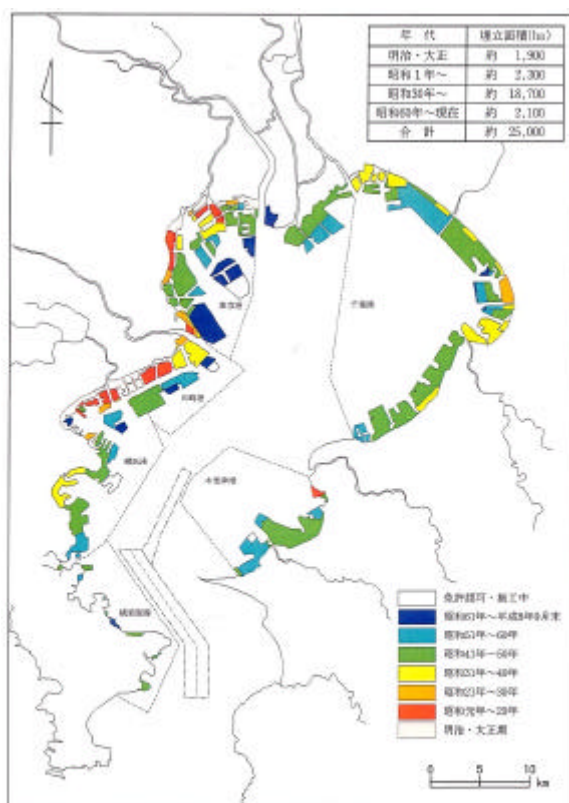
- 家庭から発生したゴミ（一般廃棄物）の最終処分場所の状況は以下のとおり。



環境省資料より作成

② 臨海部における土地利用

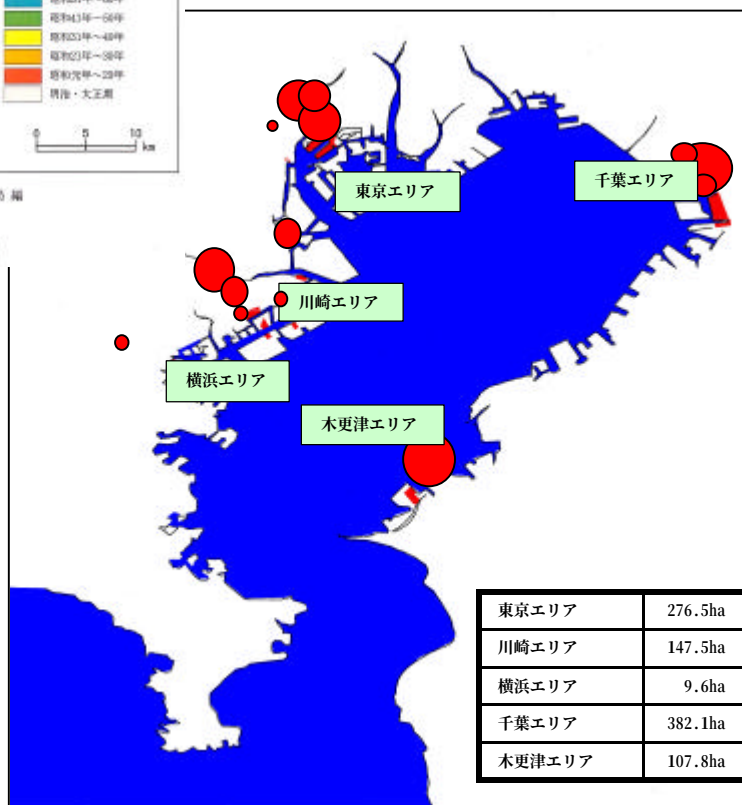
- 東京湾における埋立の状況及び工場跡地等の低未利用地の状況は以下のとおり。



出典：
・埋立推移図：新時代の東京湾、平成8年4月、運輸省第二港湾建設局 編
・埋立面積：運輸省第二港湾建設局資料

東京湾の年代別埋立の推移

東京湾の臨海部低未利用地



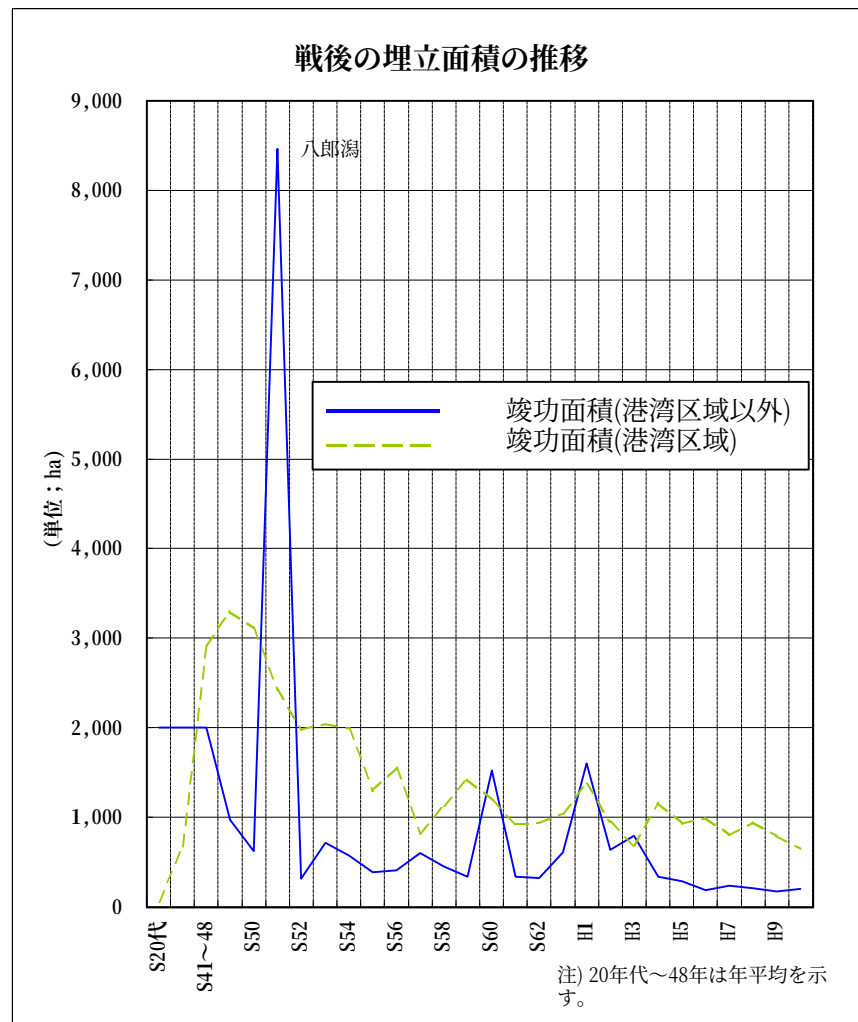
(2001年5月 国土交通省調べ)

②1 埋立面積

- 戦後の埋立の状況は以下のとおり。

目的別竣功埋立面積（S20～H10） 単位ha（ ）内は%

	住宅用地	工場用地	農業用地	その他	計
港湾区域	(4) 2,776	(54) 36,976		(42) 28,381	68,133
港湾区域以外	(4) 5,471	(8) 12,096	(68) 99,368	(20) 28,944	145,879



(国土交通省資料)

② 海洋深層水

- 深層水の取水施設の分布状況は以下のとおり。

海洋深層水取水施設の分布図

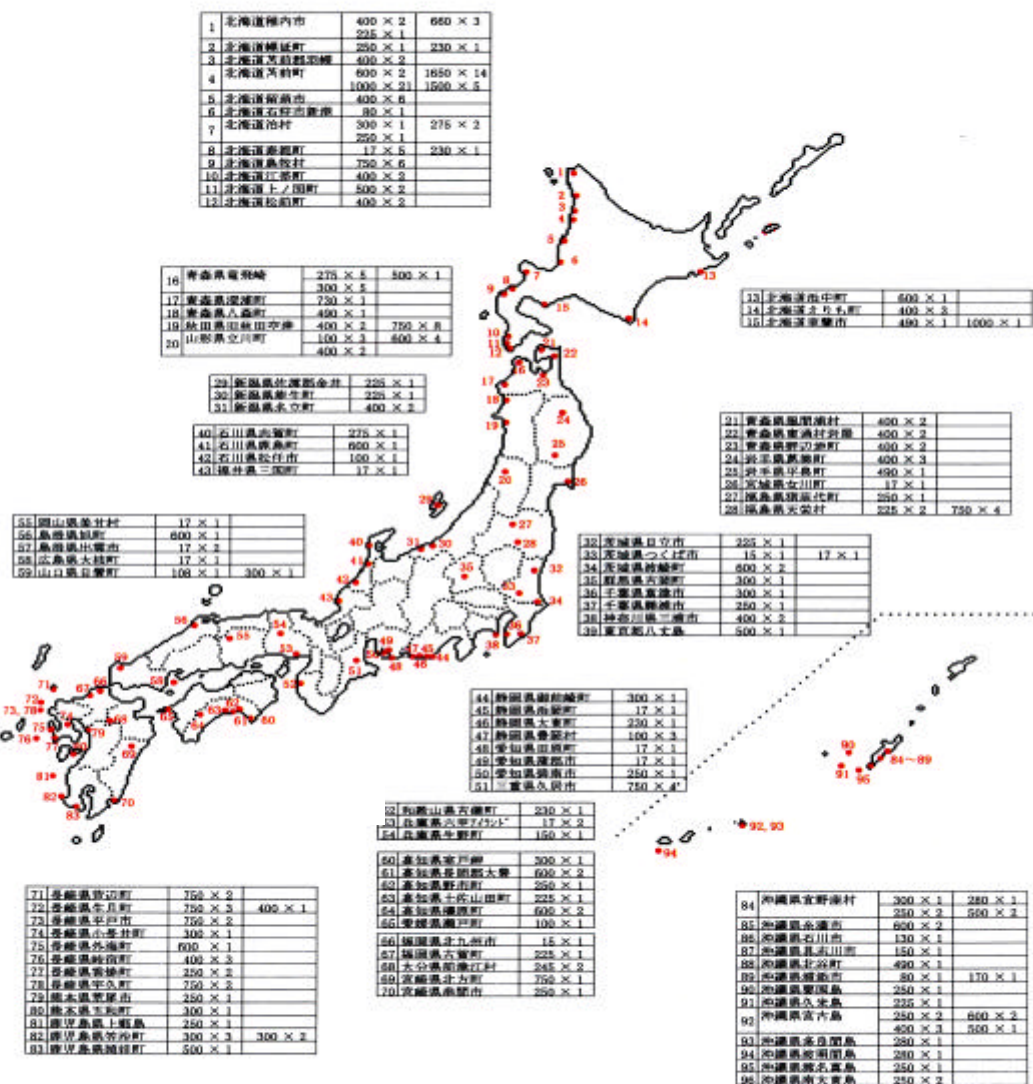


（（社）海洋産業研究会資料）

② 風力発電

○ 風力発電施設の設置状況は以下のとおり。

風力発電施設分布図

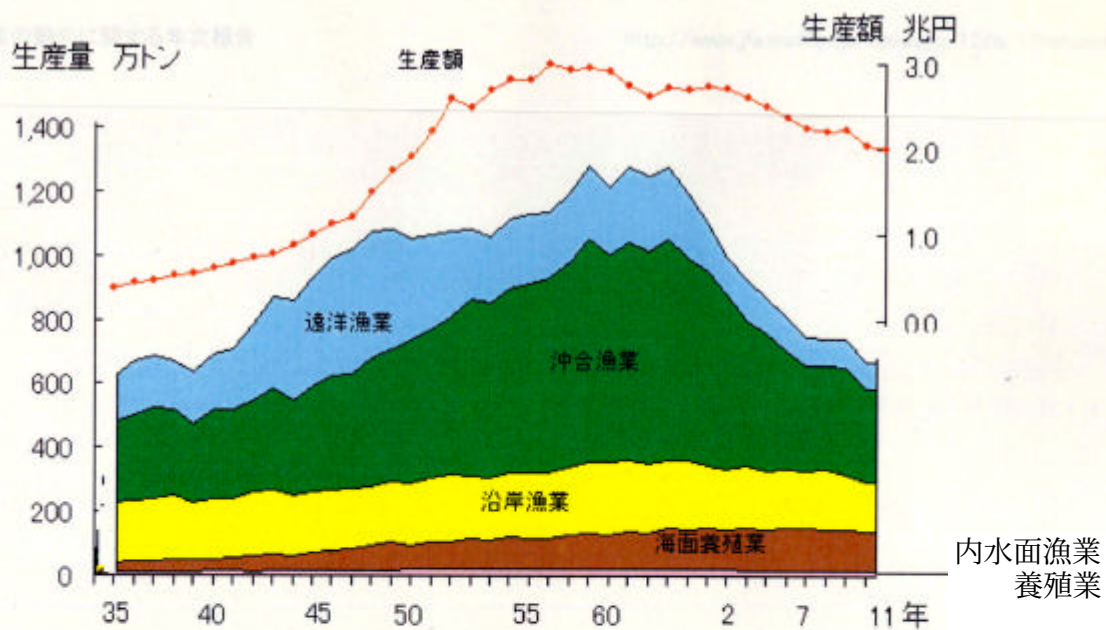


風力発電導入ガイドブック「NEDO

②4 漁業

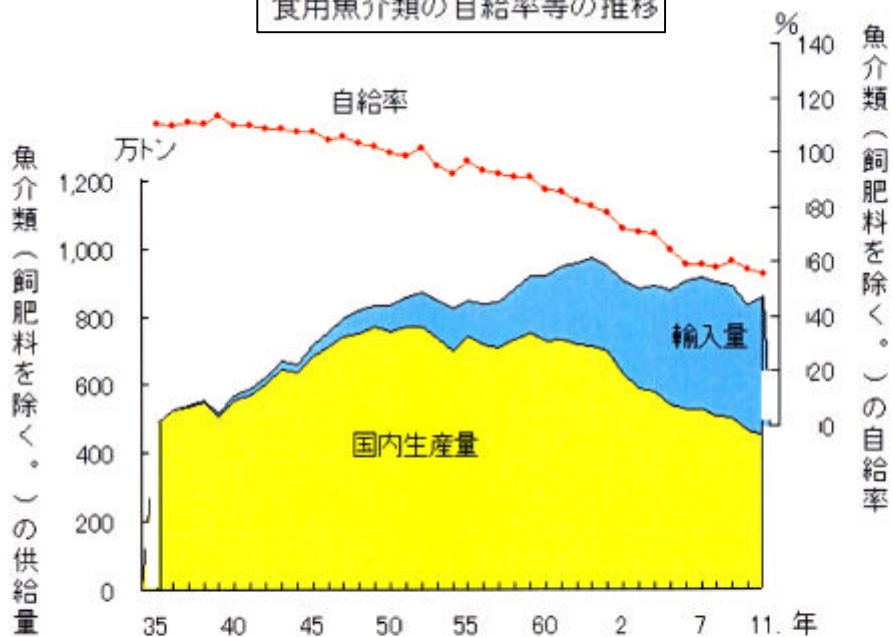
- 日本の漁業生産量等の推移及び食用魚介類の自給率等の推移は、以下のとおり。

漁業部門別生産量等の推移



資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計年報」

食用魚介類の自給率等の推移



資料：農林水産省「食料需給表」

(農林水産省ホームページ)

②⑥ 高潮の発生

○ 過去の主な高潮災害は以下のとおり。



台風18号による高潮災害：熊本県不知火町（1999年9月24日）

過去の主な高潮災害

年月日	おもな 原因	おもな 被害地域	最高潮位 T.P.上(m)	最大偏差 (m)	死者 行方 不明(人)	全壊 半壊 (戸)	備考
大6.10.1	台風	東京湾	3.0	2.1	1,324	55,733	
昭29.13	台風	有明海	3.8	0.9	439	1,420	
昭9.9.21	室戸台風	大阪湾	3.1	2.9	3,036	88,046	
昭17.8.27	台風	周防灘	3.3	1.7	1,158	99,769	
昭20.9.17	枕崎台風	九州南部	2.6	1.6	3,122	113,438	
昭25.9.3	ジェーン台風	大阪湾	2.7	2.4	534	118,854	
昭26.10.14	ルース台風	九州南部	2.8	1.0	943	69,475	
昭28.9.25	台風13号	伊勢湾	2.8	1.5	500	40,000	
昭34.9.27	伊勢湾台風	伊勢湾	3.9	3.4	5,098	151,973	
昭36.9.16	第2室戸台風	大阪湾	3.0	2.5	200	54,246	
昭45.8.21	台風10号	土佐湾	3.1	2.4	13	4,439	
昭60.8.30	台風13号	有明海	3.3	1.0	3	589	
平11.9.24	台風18号	八代海	4.5	3.5	13	845	

(国土交通省資料)

②⑦ 海岸侵食

- 海岸線は、波や流れにより侵食や堆積などの影響を受け、常に変化している。その状況は以下のとおり。



海岸侵食による浜崖：鳥取県米子市皆生海岸

海岸線の変化面積

明治-昭和(70年間)	面 積 (h a)	年変化面積 (h a／年)
侵 食	12,539	179
堆 砂	7,480	107
差し引き	5,059	72
昭和-平成(15年間)		
侵 食	4,605	307
堆 砂	2,210	147
差し引き	2,395	160

(国土交通省資料)

②⑧ 津波の発生

- 過去の主な津波災害は以下のとおり。



北海道南西沖地震津波による被害（平成7年／北海道奥尻町青苗地区）

過去の主な津波災害

年 月 日	地 震 名	被害地域	死者・行方不明者（人）	被害建物（戸）	備考
明29.6.15	三陸地震	北海道から宮城の太平洋岸	27,123	10,617	
昭8.3.3	三陸地震	三陸海岸など	3,008	11,841	
昭19.12.7	東南海地震	静岡、愛知、三重など	1,223	57,248	
昭21.12.21	南海地震	中部以西	1,443	68,006	地震被害も含む
昭35.5.23	チリ地震	日本沿岸各地	139	22,639	
昭43.5.16	十勝沖地震	青森、北海道南部	52	19,695	地震被害も含む
昭58.5.26	日本海中部地震	北海道、青森、秋田	104	6,359	地震被害も含む
平5.7.12	北海道南西沖地震	北海道、青森	231	3,443	地震被害も含む

（国土交通省資料）

②9 埋立地の液状化

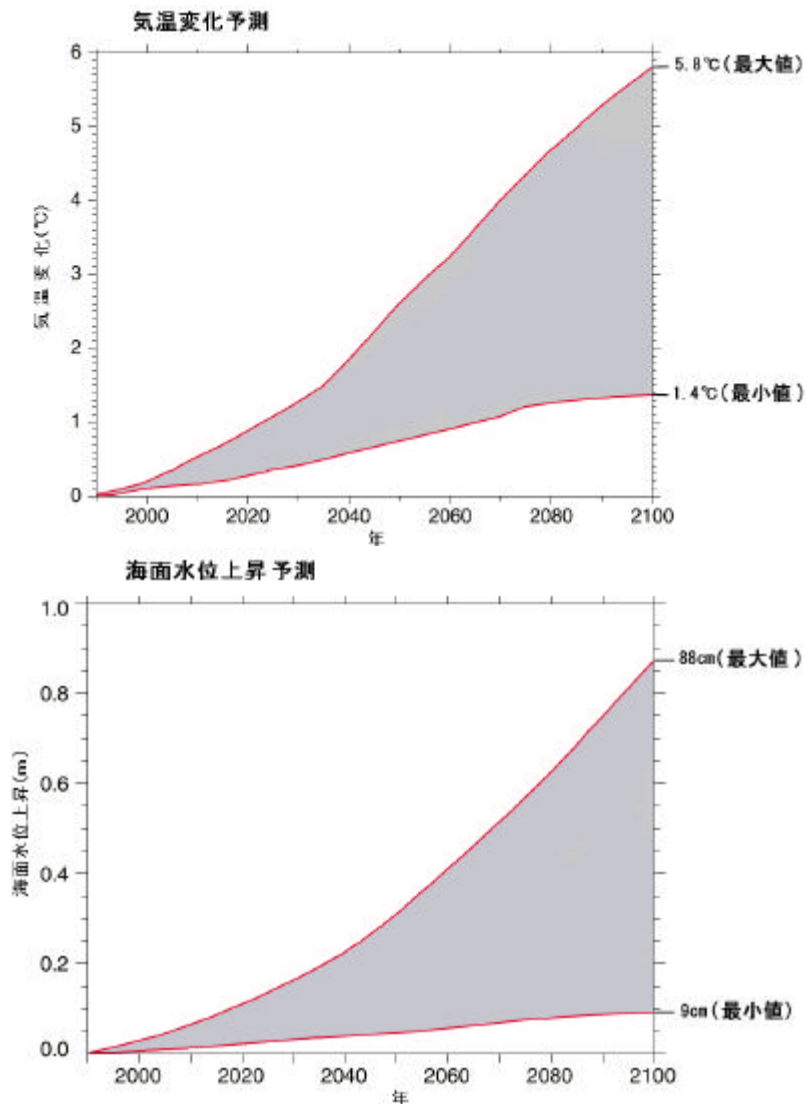
- 埋立地では、地震により液状化が発生することがある。



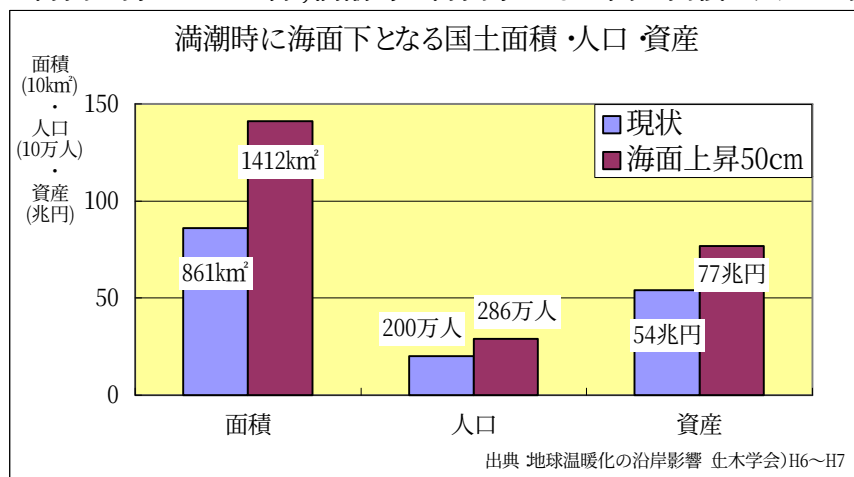
阪神 淡路大震災により、神戸港ポートアイランドに発生した液状化による噴砂現象

③⑩ 地球温暖化による海面上昇

- IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第3次評価報告書（2001年9月）による全地球平均の気温変化予測及び海面水位上昇予測は以下のとおり。



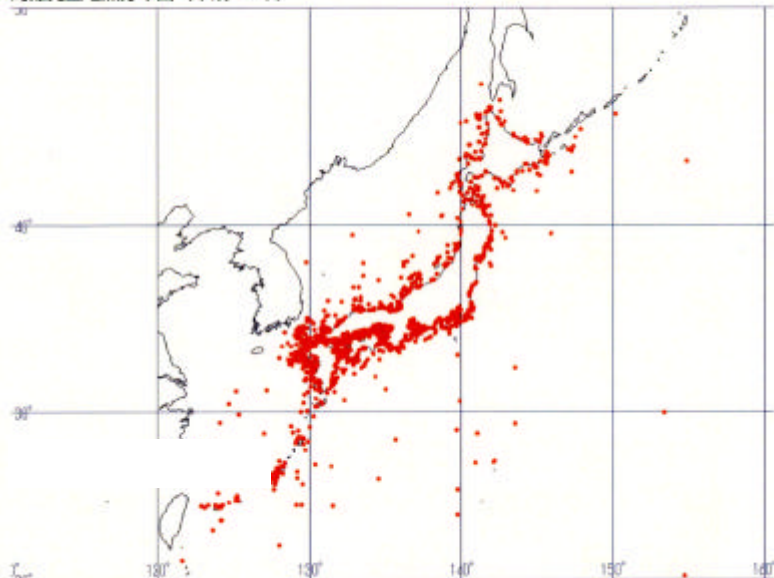
- 50cmの海面上昇が生じた際、満潮時に海面下となる国土面積・人口は以下のとおり。



③1 海難の発生

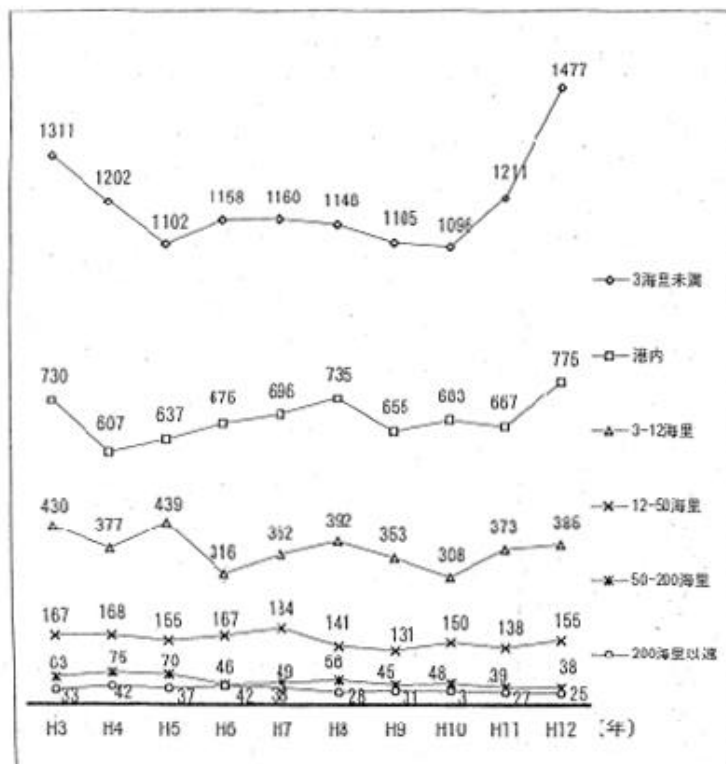
○ 海難の発生状況は以下のとおり。

海難発生地点分布図（平成12年）



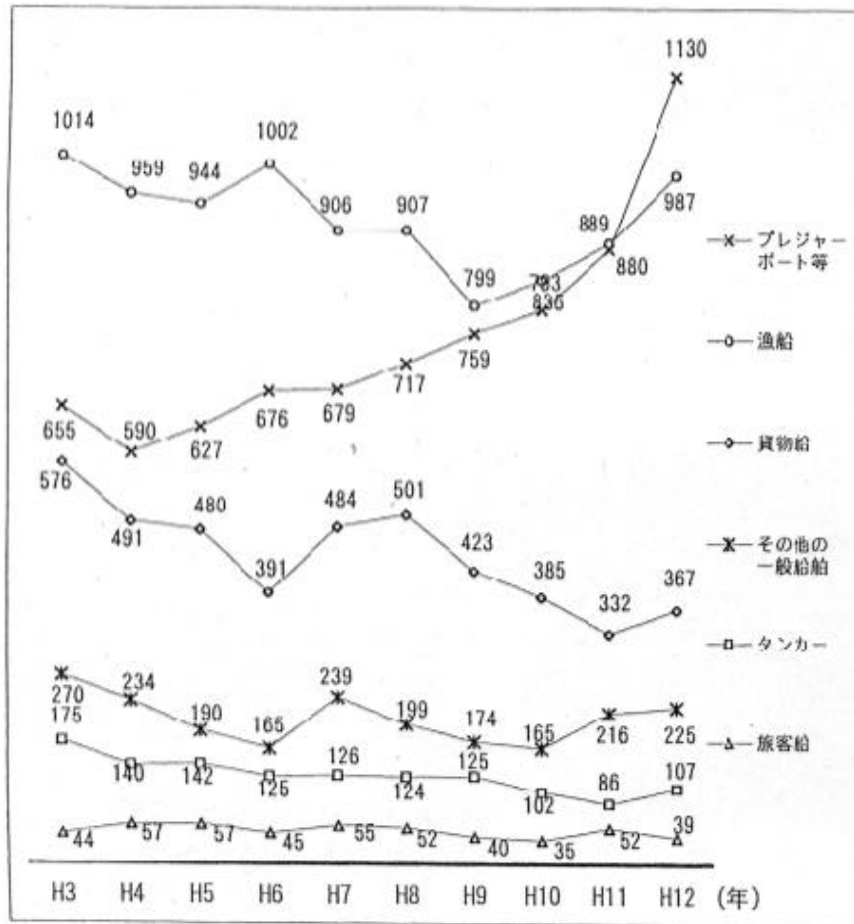
(2001海上保安レポートより)

海難船舶の距岸別隻数の推移

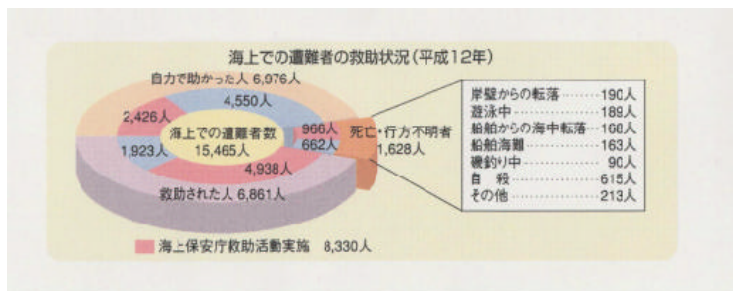


(海上保安庁資料)

海難船舶の用途別隻数の推移
(台風及び異常気象下のものを除く。)



(海上保安庁資料)



(2001海上保安レポートより)

③② 座礁船の放置

○ 平成12年末現在、座礁し放置されている船舶は以下のとおり。

